

NTT西日本グループのサステナビリティ活動

NTT西日本グループは、“「つなぐ」その先に「ひらく」あたらしい世界のトビラを”とパーパスを掲げ、ICTを活用して、さまざまな社会課題の解決に貢献することで、持続可能な社会の実現をめざしています。代表的な取り組みをご紹介します。

NTT西日本グループが取り組む3つのサステナビリティテーマ

「自然(地球)」との共生

社会が脱炭素化
している未来へ

資源が循環
している未来へ

人と自然が
寄り添う未来へ

「文化(集団・社会～国)」の共栄

倫理規範の
確立と共有

デジタルの力で
新たな未来を

安心・安全で
レジリエントな社会へ

「Well-being(幸せ)」の最大化

人権尊重

Diversity&
Inclusion

新しい働き方・
職場づくり

TOPIC 1

持続可能な森林・林業振興と
脱炭素社会実現への貢献



TOPIC 2

EV導入から運用までを支援する
ソリューションの展開



TOPIC 3

廃棄物リサイクルの
取り組み



TOPIC 4

インベスティブ都市
実現に向けた
スマートシティの推進



TOPIC 5

光サービスの拡大



TOPIC 6

安定した
通信サービス提供に
向けた取り組み



TOPIC 7

対話型アンコンシャス・バイアスチェック&
トレーニングツールを提供開始



TOPIC 8

男性育休取得の推進



TOPIC 9

社会貢献活動の推進

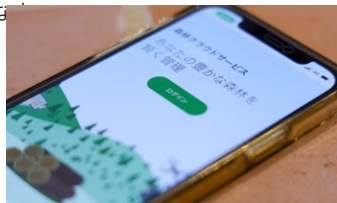


「自然(地球)」との共生

TOPIC 1

持続可能な森林・林業振興と脱炭素社会実現への貢献

NTT西日本と地域創生Coデザイン研究所は、森林・林業DXを通じて森林管理の効率化等を支援し、豊かな森林資源の維持・発展に向けた課題解決をめざしています。各自治体の状況に合わせ、地域の森林資源を活用したカーボンクレジットの創出・流通に向けた取組みを一元的にサポートしています。また、森林・林業DXの取組みは第32回地球環境大賞において総務大臣賞を受賞しました。今後も、さまざまな取組みを通じて、地域の脱炭素化、地域企業のカーボンオフセットの実現によりカーボンニュートラル社会に貢献していきます。



TOPIC 2

EV導入から運用までを支援するソリューションの展開

NTT西日本グループでは、少子高齢化や2024年問題等の地域交通に関する課題解決に向けて自動運転EVバスソリューションの導入を進めています。

また、業務車両のEV化を導入から運用、エネルギーマネジメントまでをトータルで支援するEV導入支援ソリューション「N.mobi」を提供しています。

一方、NTT西日本グループにおいては、2030年度までに社用車の100%EV化を目標に掲げています。2023年度の社用車のEV化率は36.2%で、目標達成に向け、今後も着実に取組みを進めていきます。



TOPIC 3

廃棄物リサイクルの取組み

NTT西日本グループは、2019年に「NTT 西日本グループ環境目標」を策定し、NTT西日本グループが排出する廃棄物のリサイクル率を2030年度までに99%以上とすることをめざしています。廃棄物には、撤去通信設備廃棄物、土木工事廃棄物、建築工事廃棄物、オフィス廃棄物が含まれています。2023年度は、15.7万トンの廃棄物を排出し（前年度比98.1%減）、そのリサイクル率は98.9%※と、目標達成となりました。引き続き、事業活動で用いるあらゆる資源について、使用量の削減(Reduce)、再使用(Reuse)、再資源化(Recycle)の「3R」推進に努めていきます。



※ リサイクル量(15.6万t)÷廃棄物排出量(15.7万t)

「文化(集団・社会～国)」の共栄

TOPIC 4

イノベティブ都市実現に向けたスマートシティの推進

NTT西日本は、大阪府堺市と「ICTを活用したイノベティブ都市の実現に関する連携協定」を締結し、イノベティブ都市実現に向けたスマートシティの推進に取り組んでいます。公民がイコールパートナーとして協力する「SENBOKUスマートシティコンソーシアム」を通じて、住民と地域サービスをつなぎ、生活の質の向上を目的とした、暮らしに寄り添う公民連携ポータルアプリ「堺・せんぼくポケット」や大阪公立大学と連携した「大阪府堺市南区ウェルビーイング見える化プロジェクト」等の実証プロジェクトを行いました。今後もICTを活用した地域課題の解決を推進し、新たなまちづくりに向けた価値の創造につなげていけるよう取り組んでいきます。



TOPIC 5

光サービスの拡大

NTT西日本グループの光アクセスサービスは2001年の提供開始以来、高速・大容量のインターネットアクセス回線をはじめとした多様な用途で利用され、今では西日本エリアで1,000万を超えるお客さまの暮らしやビジネスを支えています。今後は、関連事業者やパートナーの皆さまとの連携を強化しつつ、高速・大容量データ通信を可能にする新たな高速光アクセスサービス「フレッツ光クロス」の拡大、お客さまの課題解決に向けた商材やしくみの発掘・提供等を図っていきます。そのうえで光サービス基盤を強化し、さらなる光サービスの拡大をめざします。



TOPIC 6

安定した通信サービス提供に向けた取組み

お客さまがいつでも、どこでも安心してインターネットや電話等の通信サービスをお使いいただけるよう、信頼性の高い通信ネットワークの構築に取り組んでいます。NTT西日本では、24時間365日、通信サービスを監視するネットワークサービスオペレーションセンターにて、リアルタイムに通信サービスの状況を一元的に監視・制御するとともに、予期せぬトラブルが発生した際にも迅速かつ確に回復措置がとれるよう努めています。また、障害検知から復旧の自動化等、ICT活用によるプロアクティブな運用をめざしていきます。



「Well-being(幸せ)」の最大化

TOPIC 7

対話型アンコンシャス・バイアスチェック&トレーニングツールを提供開始

NTTビジネスソリューションズは、生成AIを活用したアンコンシャス・バイアスチェック&トレーニングツール「karafuru AI」を提供しています。本ツールは、職場におけるさまざまな場面の1on1のシチュエーションにおいて、自分ならどう対話するかを記述回答すると、すぐにAIによるフィードバックや専門家のアドバイスを確認でき、振り返りに活用できます。利用者個人のトレーニングだけでなく、組織全体や階層ごとの傾向の可視化も可能をすることで、結果データを用いてダイバーシティ経営の推進に向けた指針や戦略の再評価・検討等への活用も期待されます。



TOPIC 8

男性育休取得の推進

近年、育児等のライフイベントを抱える男性社員について、仕事と家庭の両立ニーズは高まっているものの、実現できていない社員が多くいることが現状です。そこで NTT 西日本では、男性社員も積極的に育児へ参画できるよう、育児休職等をはじめとする各種制度の取得を推進しています。今後も定期的にセミナー等を開催し、育児参画への理解促進を図っていきます。



TOPIC 9

社会貢献活動の推進

NTT西日本グループでは、各地域の清掃活動を実施しています。2024年の強化期間には、西日本エリア全体で約5,600名の社員が参加しました。また、NTT西日本グループにおいて、会社にある備蓄品をフードバンク等へ寄贈する支援をしています。さらに、社員が家庭にある食品や文房具等を持ち寄り、こども食堂や母子生活支援施設等へ寄贈する「フードドライブ活動」についても、社員とその家族の支援により活動の幅を広げています。



(上) フードドライブ活動の様子(佐賀支店)
(下) 清掃活動の様子(沖縄支店)

